

水稻の生育状況と今後の管理対策（臨時号）

早生品種は胴割れ防止のため刈り遅れず収穫してください

令和2年8月26日
新潟県農林水産部

〔気象と生育の状況〕

- ◎ 県内では、台風第8号の影響を受け、最高気温が35℃を超え、明日以降、37℃に達するところも見込まれます。
- ◎ また、新潟地方气象台が24日に発表した「高温に関する早期天候情報」によると、8月30日頃からかなりの高温（平年差+2.6℃以上）が続く見込みです。
- ◎ この間に成熟期を迎え、異常な高温と乾燥に遭遇した早生品種では、刈り遅れによる胴割粒の多発生が懸念される状況となっています。

〔管理対策のポイント〕

収 穫

- ★ 刈り遅れによる胴割粒の発生を抑えるため、早生品種の収穫は2日程度（積算気温で50℃）早めましょう。収穫適期が間近な五百万石、ゆきん子舞、こしいぶきでは925℃程度をめやすとし、ほ場で籾の黄化状況を必ず確認して、遅れずに収穫してください（黄化籾割合が85～90%がめやす）。
- ★ ほ場での籾水分が25%に達して以降、極度の高温と乾燥に遭遇した場合には、その後、胴割粒の発生が急増するので、できるだけ早めに収穫してください。

乾燥・調製

- ★ ほ場段階で胴割れが想定される場合は、毎時乾燥速度が0.5%以下になるよう送風温度を低く設定し、乾燥終了時は、必ず手持ちの水分計で仕上げ水分を確認しましょう。
- ★ また、ほ場段階で18%程度まで籾水分が低下している場合は、張り込み後に通風循環し、水分ムラを解消させてから加熱乾燥を行いましょう。
 - ・ 調製時に未熟粒や被害粒が多い場合は流量をしぼり、屑米除去の精度を高めましょう。さらに、色彩選別機を活用して、品質向上に努めましょう。

熱中症予防

- ★ 長期にわたり、厳しい暑さが続きます。農作業時には、水分補給や休憩時間を十分に確保するなど、熱中症予防と健康管理に最大限の注意をしましょう。